

○相模川水系等 5 水系に係る詳細調査

1. 相模川(桂川を含む)

(1) 水域の概況

相模川は、その源を富士山(標高 3,776m)に発し、山梨県内では「桂川」と呼ばれ、山中湖から笹子川、野川などの支川を合わせ、山梨県の東部を東に流れて神奈川県に入り、「相模川」と名を変え、相模ダム、城山ダムを経て流路を南に転じ、神奈川県中央部を流下し、中津川などの支川を合わせて相模湾に注ぐ、幹川流路延長 113km、流域面積 1,680km² の一級河川である。

その流域は、東西を軸とした弓状を呈し、山梨県、神奈川県の 2 県 14 市 4 町 6 村にまたがり、山地等が約 80%、水田や畑地等の農地が約 10%、宅地等の市街地が約 10%となっており、下流部の厚木市等の市街化された地域に人口が集中している。

(出典：相模川水系河川整備基本方針 平成 19 年 11 月 国土交通省河川局)

(2) 水質の状況

1) 水域類型指定状況 (図 1.1)

既存生活環境項目(BOD、COD、全窒素、全リン等の水生生物保全環境基準を除く項目)の水域類型指定状況は、河川が相模川上流(1)、(2)、(3)、中流及び下流の 5 区分で、相模川上流(1)が AA 類型、相模川上流(2)、(3)及び相模川中流が A 類型、相模川下流が C 類型に指定されている。

2) 水質汚濁の状況 (表 1.2、図 1.2～図 1.4)

BOD75%値の 5 年平均で見ると、相模湖及び津久井湖内の地点以外では水質の改善傾向が見られており、近年(平成 14～18 年度)では、名手橋地点(補助地点)で環境基準を若干上回る年もあるが、すべての環境基準点で BOD の環境基準を満たしている。

3) 亜鉛の水質の状況 (図 1.5～図 1.7)

平成 17～18 年度の調査の結果、年平均の全亜鉛濃度は、平成 18 年度の沼本ダム地点で 0.058mg/L と高い値を示した以外は概ね 0.01mg/L 以下であった。

相模川本川における亜鉛排出事業所としては下水処理場・精密機器器具製造業等、全体で 15 件存在しており、そのうち当該水域へ直接放流する事業所(PRTR 対象事業所)は 3 件で、年度排出量が 1000kg 超・100kg 超・10kg 超・1kg 超・1kg 以下の順で見ると 2 件・0 件・0 件・1 件・0 件となっている(出典：平成 18 年度水質汚濁物質排出量総合調査データ、平成 18 年度 PRTR データ)。

(3) 水温の状況 (図 1.8、図 1.9)

上流の相模川上流(1)では平均水温 13℃程度であるが、下流に向かうに従って上昇し、相模川中流の昭和橋付近では平均水温 15℃程度となっている。昭和橋から下流からは水温が上昇しており、馬入橋では平均水温 17℃程度となっている。

(4) 水域の構造等

1) 河床材料 (図 1.10)

相模川における主な河床材料は、大月橋から上流では石が主体、相模ダム貯水池上流端から大月橋では礫が主体、城山ダム貯水池及び相模ダム貯水池では砂が主体、寒川取水堰から城山ダムでは礫が主体、寒川取水堰から下流では礫や砂が主体となっている。

2) 流量 (図 1.11)

低水流量は、小倉で $18\text{m}^3/\text{s}$ 程度、寒川取水堰下流で $9\text{m}^3/\text{s}$ 程度となっている。

3) 主な河川構造物 (図 1.12)

堰として、鹿留発電所取水堰、川茂発電所取水堰、駒橋発電所取水堰、八ツ沢発電所取水堰、松留砂防堰堤、相模大堰、寒川取水堰があり、八ツ沢発電所取水堰、松留砂防堰堤、相模大堰、寒川取水堰には魚道が設置されている。また、頭首工としては、諏訪森下頭首工、葉山島頭首工、清水下頭首工、小沢頭首工及び磯部頭首工があり、小沢頭首工及び磯部頭首工には魚道が設置されている。ダムとして上流に相模ダム、沼本ダム及び城山ダムがある。

(5) 魚介類の生息状況 (表 1.1、表 1.3、図 1.13～図 1.14)

1) 冷水性の魚介類

(a) 基礎情報

冷水性の魚介類は、河川水辺の国勢調査(国土交通省)等によると、カジカが小沢堰下及びその上流の葉山堰下等で確認されている。

(b) ヒアリング情報

下表のとおりとする。

2) 温水性の魚介類

(a) 基礎情報

温水性の魚介類は、河川水辺の国勢調査(国土交通省)等によると、城山ダムより下流に一般的に、コイ、フナ類、オイカワ、ウグイ、ドジョウ、シマヨシノボリ等が確認されている。

(b) ヒアリング情報

下表のとおりとする。

3) その他

アユは、河川水辺の国勢調査(国土交通省)等によると、城山ダムより下流に一般的に確認されている。

また、相模川においては内水面の漁業権が設定されており、アユ・ヤマメ・イワナ・ウナギ・フナ等の放流も実施されている。

表 1.1 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果の整理(相模川)

項目	ヒアリング結果 (回答機関名)	
	山梨県 (上流～中流)	神奈川県 (中流～下流)
魚介類の生息範囲	<p>①代表的及び特徴的な魚介類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桂川水系 (山梨県内の相模川) ではヤマメが代表種 (山梨県農政部)。 ・ウグイ・アブラハヤは在来種 (地域自然財産研究所)。 <p>②イワナ・ヤマメ類等の生息範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山梨・神奈川県境より上流に生息 (山梨県農政部)。 ・ヤマメは本流にも生息 (イワナは支流のみ) (地域自然財産研究所)。 <p>③コイ・フナ類等の生息範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山中湖から山梨・神奈川県境まで生息 (山梨県農政部)。 ・山中湖及びその他ピンポイントで出現するが、基本的には生息しない (地域自然財産研究所)。 	<p>①代表的及び特徴的な魚介類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アユ・オイカワ・ウグイが代表種 (神奈川県内水試)。 ・管轄区域 (山梨・神奈川県境～河口) においてはアユ・コイ・フナ・オイカワ・テナガエビ・ウナギ・ヤマメ・ワカサギ・サクラマスが主な魚種 (相模川漁連)。 <p>②イワナ・ヤマメ類等の生息範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本流ではほぼ皆無 (神奈川県内水試)。 ・津久井湖ではヤマメが採集される。相模湖ではニジマスが採集される (神奈川県内水試)。 ・ヤマメ・イワナは主に支流に生息、ワカサギは相模湖等止水域に生息 (相模川漁連)。 <p>③コイ・フナ類等の生息範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河口から津久井湖および相模湖に生息 (神奈川県内水試)。 ・管轄域全域に生息 (相模川漁連)。
魚介類等資源の保全	<p>①放流魚種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山中湖漁協ではワカサギ・フナ類・コイ・ウナギ・オイカワ・ウグイ・オオクチバス、忍草漁協ではヤマメ・ニジマス・イワナ・ブラウンマス、都留漁協ではアユ・ヤマメ・ニジマス・イワナ・ウグイ、桂川漁協ではアユ・ヤマメ・ニジマス・イワナ・ウナギ・ウグイ・オイカワ・コイ・フナ類・ワカサギを放流 (山梨県農政部)。 	<p>①放流魚種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アユ・コイ・フナ類等放流を実施 (相模川漁連)。
河川環境	<p>①河床材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上流から県境までは岩盤・石が中心で、相模湖上流は砂と泥になる (山梨県農政部)。 ・瀬と淵がはっきりとした渓谷状の河川で、一部で砂が溜まる場所もある (地域自然財産研究所)。 <p>②堰・ダム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内に大きな障壁は東京電力鹿留発電所の取水口。それ以外には大きな工場の取水等はない (山梨県農政部)。 	<p>①河床材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河床材料調査結果等で現状を概ね捉えられている (相模川漁連)。 ・高田橋から小沢堰は石が比較的大きい。昭和橋のあたりは石のサイズもだいぶ小さくなる。昭和橋から河口部へはほぼ一様な状態 (神奈川県内水試)。 <p>②堰・ダム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内で大きなものは城山ダム、寒川取水堰、相模大堰である (神奈川県内水試)。寒川取水堰、相模川大堰、磯部の堰には魚道設置がある。相模ダムには魚道が無い (相模川漁連)。

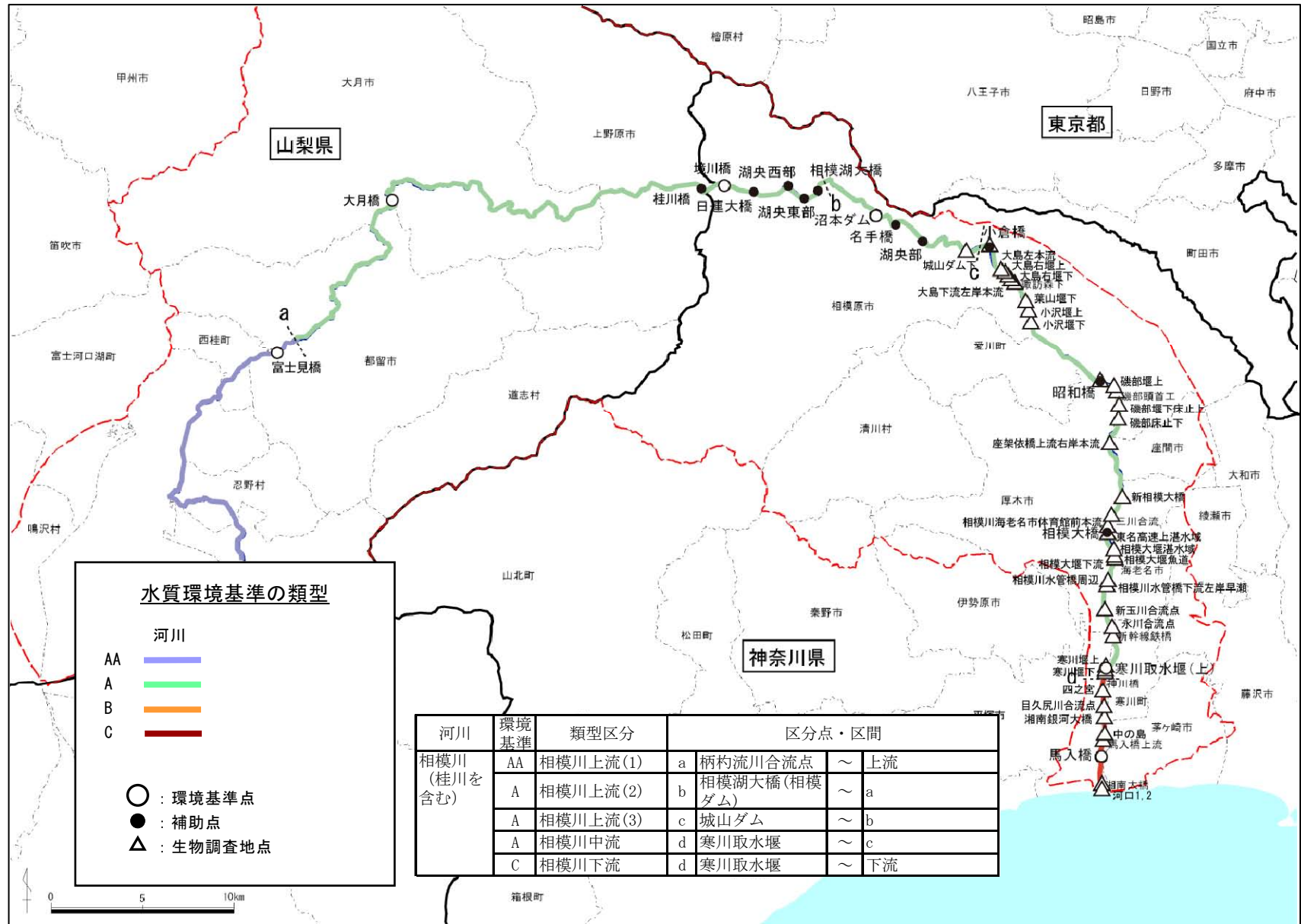


図 1.1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況(相模川)

表 1.2 近年の水質の状況(相模川)

対象	水域	類型	環境基準点	年度	BOD				pH			DO				SS				大腸菌群数				
					最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
河川	相模川上流(1)	AA	富士見橋	H16	<0.5	1.3	0.8	1	1	7.7	8.2	6.5~8.5	9.3	10	9.8	7.5	<1	6	2	25	1300	33000	11000	50
				H17	<0.5	0.9	0.6	0.6		7.8	8		8.8	10	9.8		<1	3	1		1100	17000	5700	
				H18	<0.5	1.4	0.6	0.7		7.8	8.2		9.3	12	10		<1	15	2		490	17000	6900	
	相模川上流(2)	A	大月橋	H16	<0.5	2.2	1.1	1.3	2	7.9	8.4	6.5~8.5	9	12	10	7.5	1	15	3	25	3300	79000	26000	1,000
				H17	<0.5	1.8	0.8	0.8		7.8	8.1		8.8	11	10		<1	4	2		3300	70000	18000	
				H18	0.5	1.5	0.8	1		7.9	8.4		7.6	13	11		<1	5	2		3300	160000	35000	
			桂川橋	H16	<0.5	1.2	0.8	1		7.8	8.1		8.8	12	11		<1	25	4		2300	35000	12000	
				H17	<0.5	1.3	0.9	0.9		7.3	8		8.6	12	11		<1	4	2		3300	17000	9000	
				H18	<0.5	1.3	0.8	0.9		7.7	8.1		8.9	12	10		<1	6	2		3300	92000	21000	
		境川橋	H16	0.5	13	1.9	1.9		7.7	9.2		8.4	13	11		2	19	8		240	49000	13000		
			H17	0.6	5.4	1.3	1.2		7.6	9.6		7.9	16	10		2	23	6		490	33000	12000		
			H18	0.5	4	1.2	1.4		7.7	9.1		8	13	10		2	18	6		220	17000	5800		
		日連大橋	H16	<0.5	5.4	1.3	1.8		7.7	9.3		8.6	14	11		1	15	8		490	13000	4800		
			H17	0.5	7	1.7	2		7.6	9.5		8.4	16	11		1	22	9		700	17000	4500		
			H18	<0.5	4.1	1.1	1.3		7.7	9.2		8.3	14	11		1	11	5		220	33000	5800		
		湖央西部	H16	<0.5	52	3.5	2.1		7.5	9.7		8.1	18	11		1	59	9		220	4900	1900		
			H17	0.5	19	2.4	2.4		7.5	9.5		7.5	18	11		1	34	7		79	11000	2100		
			H18	<0.5	11	1.7	1.7		7.6	9		8.1	13	10		1	16	6		240	7900	2500		
		湖央東部	H16	0.5	8.6	1.6	1.6		7.5	9.4		6.5	16	11		1	23	8		170	17000	4700		
			H17	<0.5	4.2	1.5	2.1		7.5	9.2		6.6	14	10		1	11	5		70	79000	8400		
			H18	<0.5	4	1.4	1.9		7.5	9.1		5	14	9.9		1	10	5		49	11000	2200		
	相模湖大橋	H16	0.5	16	1.8	1.4		7.3	9.4		2.4	16	9.8		2	32	9		110	11000	2400			
		H17	0.5	7	1.5	1.6		7.3	9.1		2.2	14	9.6		2	12	5		130	4900	1500			
		H18	<0.5	15	1.8	1.5		7.4	9.3		4.4	15	9.4		1	18	6		94	17000	4200			
	相模川上流(3)	A	沼本ダム	H16	0.6	2	1.2	1.4	2	7.5	8.2	6.5~8.5	7.2	11	9.8	7.5	2	16	7	25	330	7900	3100	1,000
				H17	0.7	3.2	1.5	1.7		7.5	8.9		7.1	12	9.9		1	9	5		79	4900	1600	
				H18	0.6	4	1.3	1.4		7.6	8.3		7.8	11	9.5		1	7	5		49	4900	1400	
		名手橋	H16	<0.5	19	2.4	2		7.3	9.4		2.5	18	11		2	35	10		70	17000	3400		
			H17	0.5	52	4.3	2.1		7.6	9.4		8.2	18	11		1	57	10		17	33000	3300		
			H18	<0.5	4.6	1.6	2		7.6	8.7		6.8	12	10		1	19	6		130	17000	2500		
	湖央部	H16	<0.5	3.4	1.3	1.8		7.1	9.1		0.9	14	8.8		1	28	6		130	17000	2300			
		H17	0.7	8.7	1.9	2.3		7.2	9.3		1.4	15	9.6		1	20	6		49	28000	4100			
		H18	<0.5	4	1.3	1.5		7.2	9.4		<0.5	13	8.5		<1	11	5		140	13000	1600			
	相模川中流	A	小倉橋	H16	0.5	1.8	1.2	1.4	2	7.4	8.5	6.5~8.5	8.7	12	11	7.5	2	26	6	25	33	790	310	1,000
				H17	0.6	1.6	1.1	1.3		7.6	8.2		7.7	12	9.9		2	7	4		45	790	240	
				H18	<0.5	1.5	1.1	1.2		7.2	7.7		7.6	12	9.9		1	5	2		23	1100	220	
			昭和橋	H16	<0.5	2.4	1.4	1.5		7.5	8.1		7.6	12	10		2	32	6		45	4600	1300	
				H17	0.6	4	1.5	1.6		7.3	8.5		8.1	13	11		1	42	6		130	24000	4600	
				H18	0.6	2.4	1.3	1.6		7.6	8.8		7.8	13	10		1	28	5		45	17000	3100	
		相模大橋	H16	<0.5	1.7	1	1.2		7.5	7.9		7.6	12	10		1	32	5		79	4900	1600		
			H17	<0.5	3	1.3	1.6		7.3	8.4		7.3	12	10		1	48	5		130	9200	1700		
			H18	<0.5	2	1.1	1.4		7.4	8.1		8.2	11	10		<1	23	4		110	49000	6400		
寒川取水堰(上)		H16	<0.5	1.8	1.1	1.3		7.5	8.2		7.8	12	10		1	47	7		240	7900	1600			
		H17	<0.5	3.4	1.1	1.3		7.3	8.5		7.2	13	10		1	95	7		110	3500	1400			
		H18	<0.5	2.1	1.1	1.2		7.3	8.5		7.6	13	10		<1	27	5		220	79000	11000			
相模川下流	C	馬入橋	H16	0.5	3.8	1.4	1.5	5	7.2	8	6.5~8.5	6.8	11	9.1	5	1	33	7	50	330	49000	15000	-	
			H17	0.9	8.3	2.6	2.9		7.2	7.9		6.9	10	8.8		2	13	4		1100	170000	38000		
			H18	0.6	9.9	1.6	1.7		7.3	8.4		4	13	8		1	18	5		330	17000	5300		

出典：公共用水域の水質測定結果(平成16~18年度)

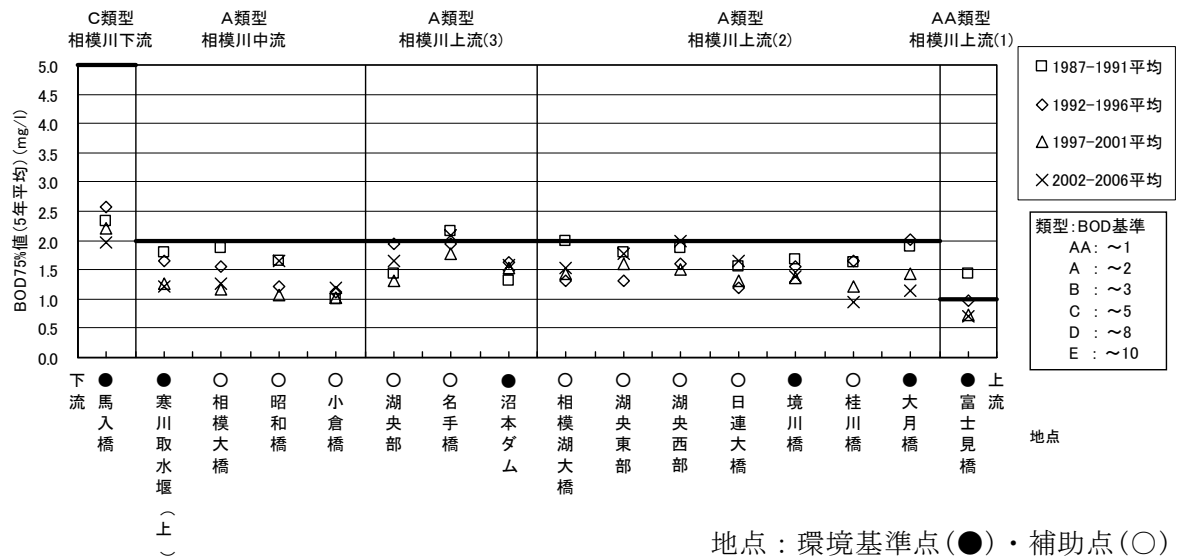


図 1.2 BOD75%値の縦断分布(相模川)

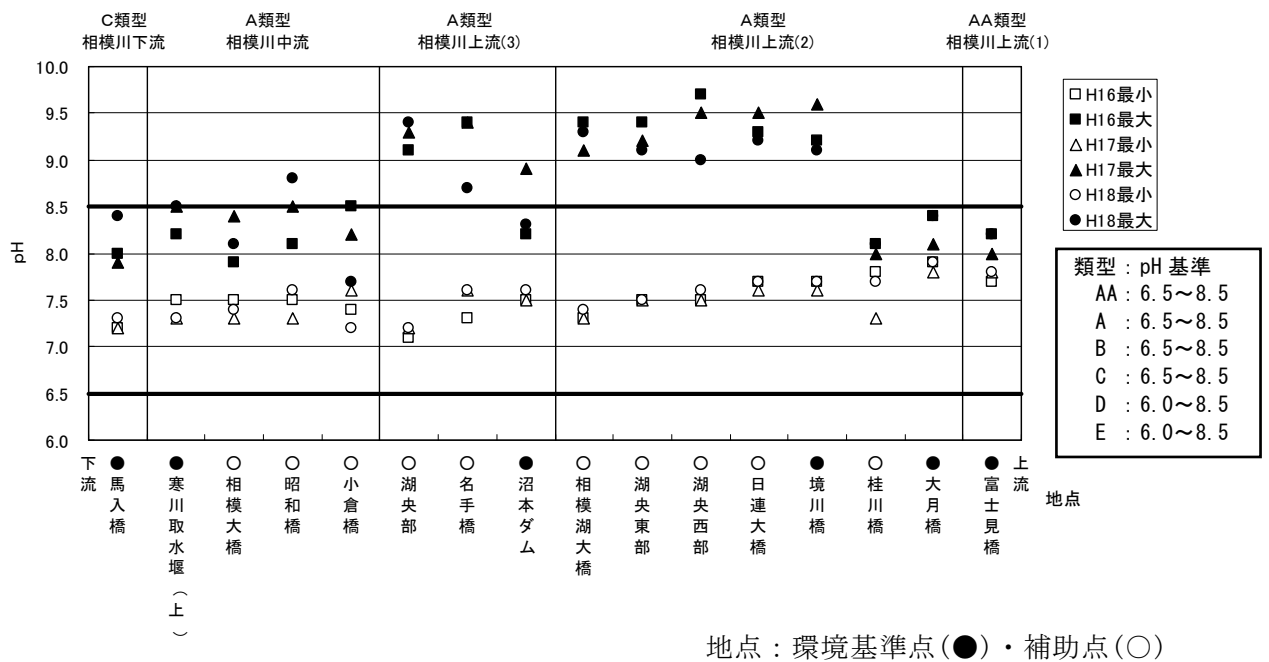
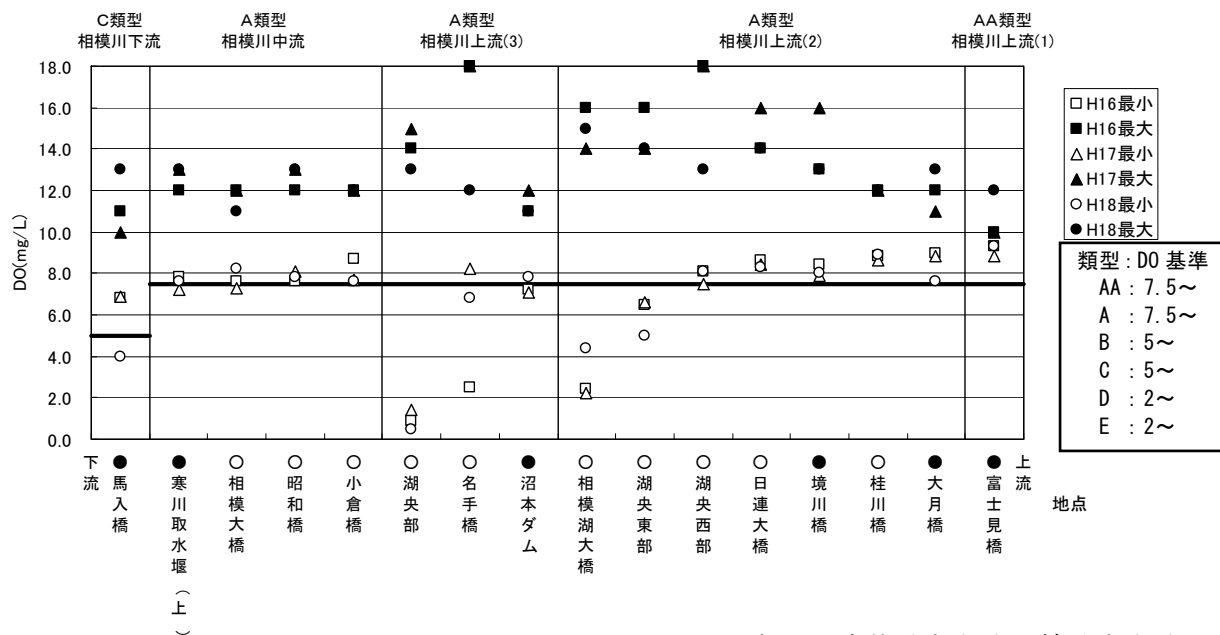


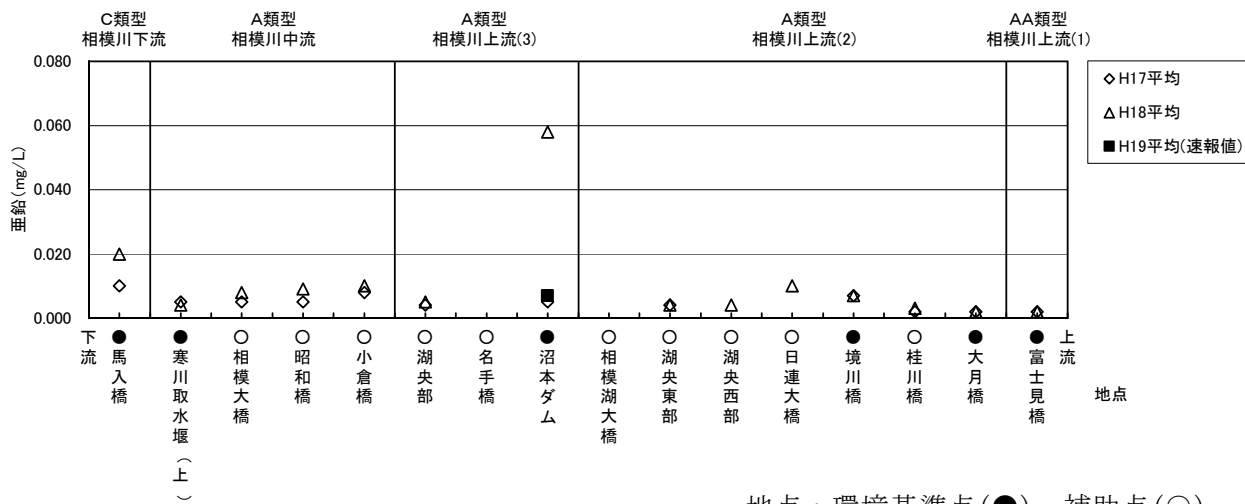
図 1.3 pHの縦断分布(相模川)



地点：環境基準点(●)・補助点(○)

出典：公共用水域の水質測定結果

図 1.4 DOの縦断分布(相模川)



地点：環境基準点(●)・補助点(○)

※沼本ダムの平成19年度の値は速報値である。

出典：公共用水域の水質測定結果

図 1.5 亜鉛の縦断分布(相模川)

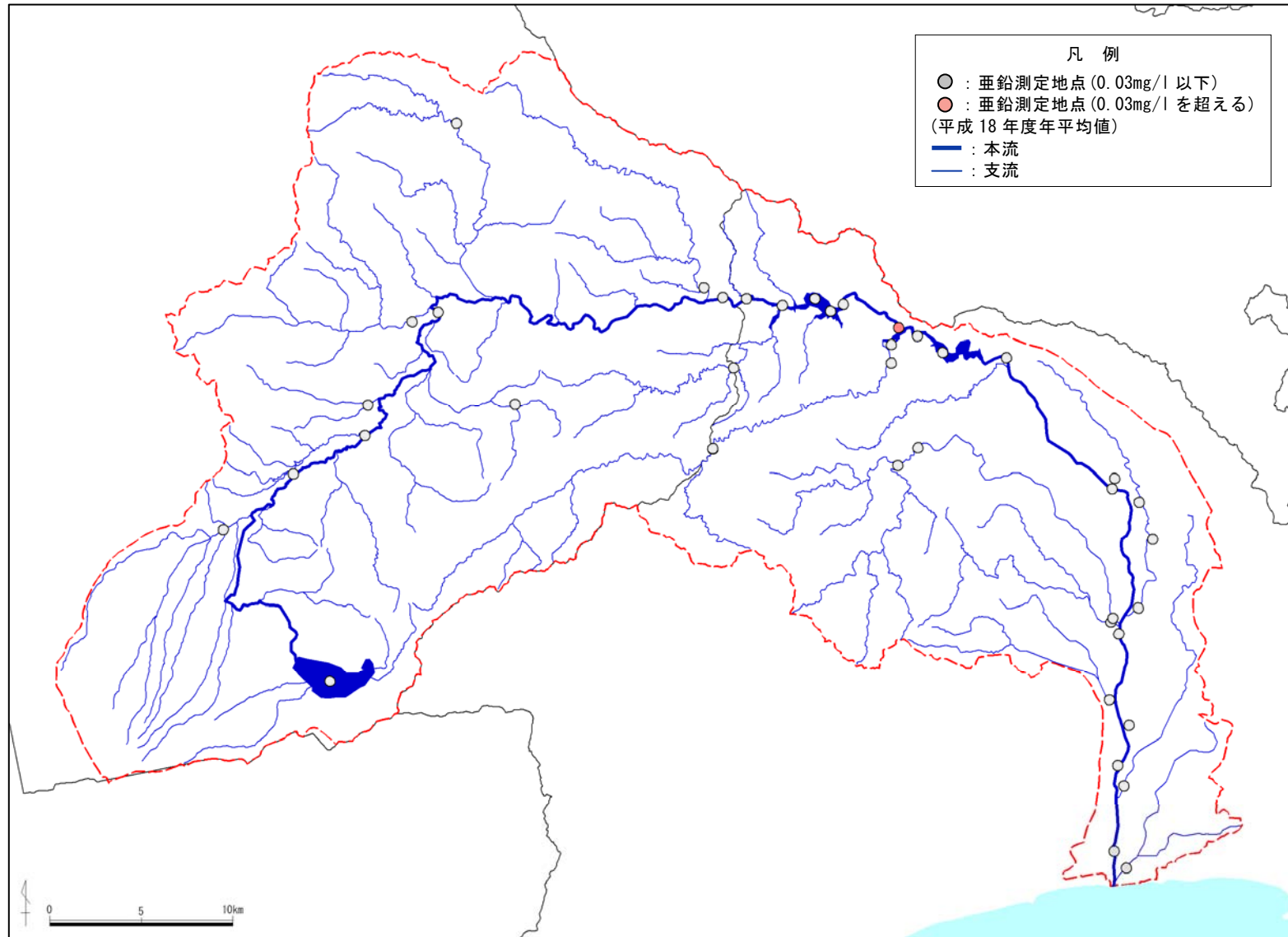
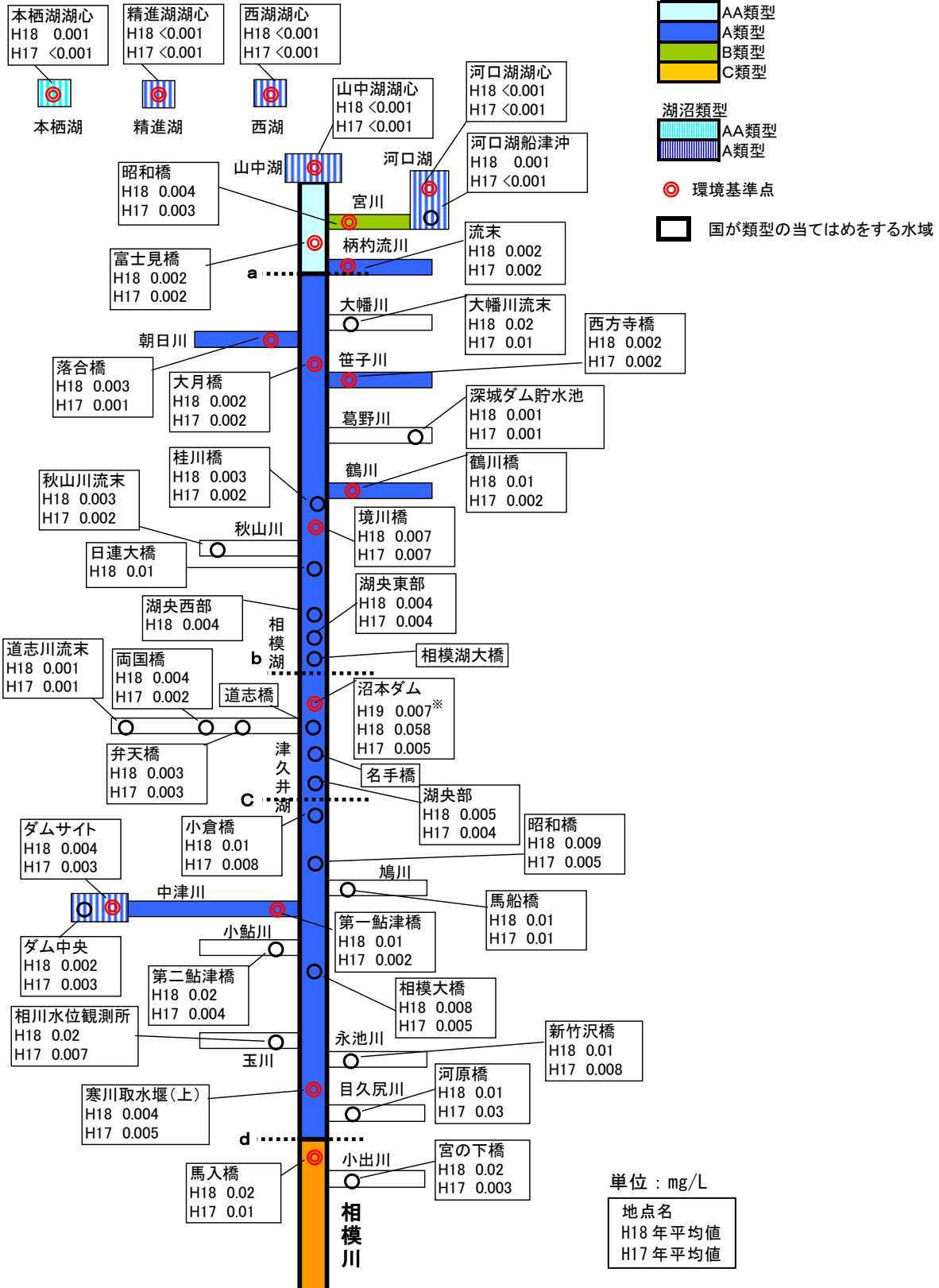


図 1.6 亜鉛測定地点(相模川)

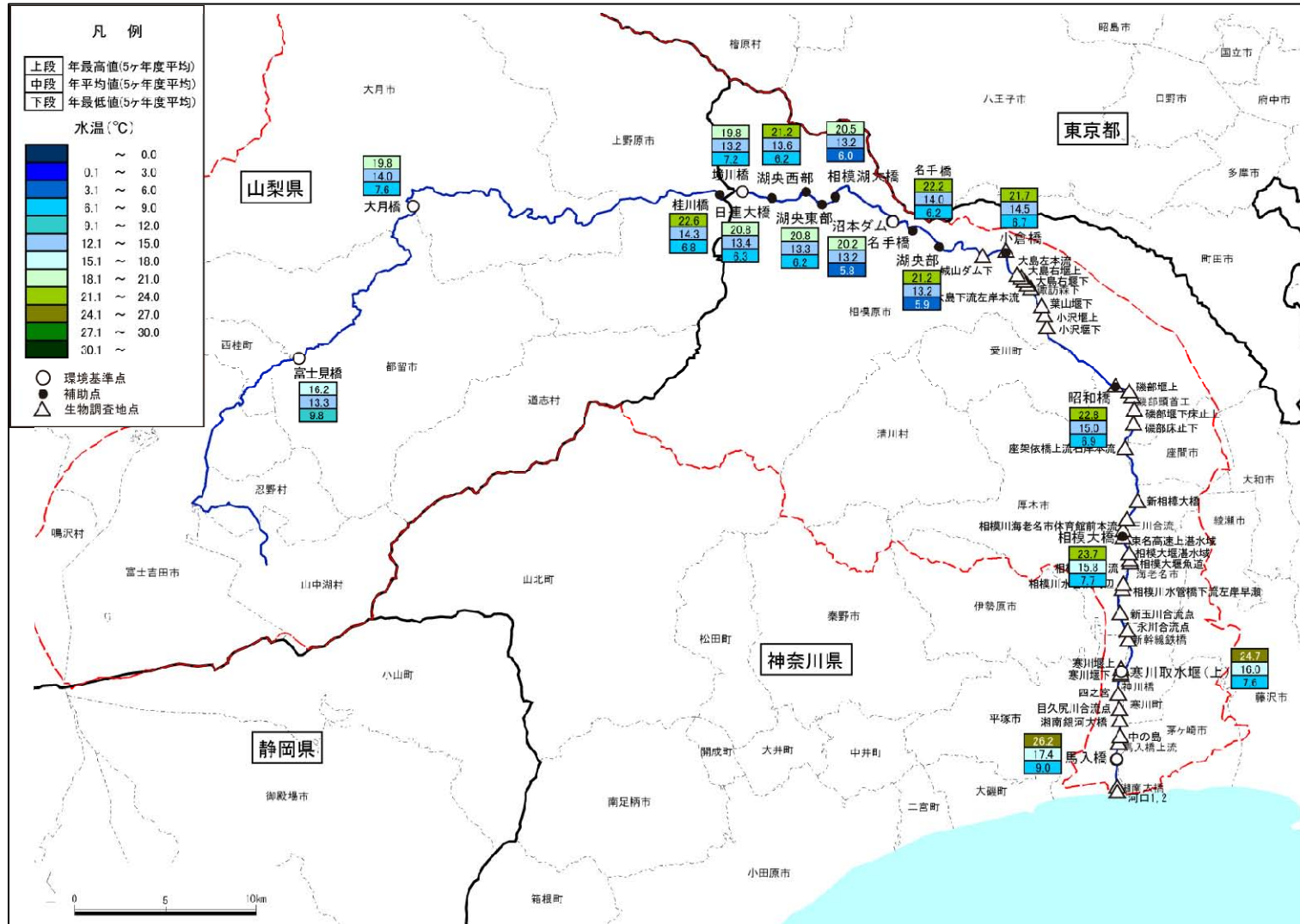
河川	環境基準	類型区分	区分点・区間		
相模川 (桂川を含む)	AA	相模川上流(1)	a	柄杓流川合流点	～ 上流
	A	相模川上流(2)	b	相模湖大橋(相模ダム)	～ a
	A	相模川上流(3)	c	城山ダム	～ b
	A	相模川中流	d	寒川取水堰	～ c
	C	相模川下流	d	寒川取水堰	～ 下流



※沼本ダムの平成19年度の値は速報値である。

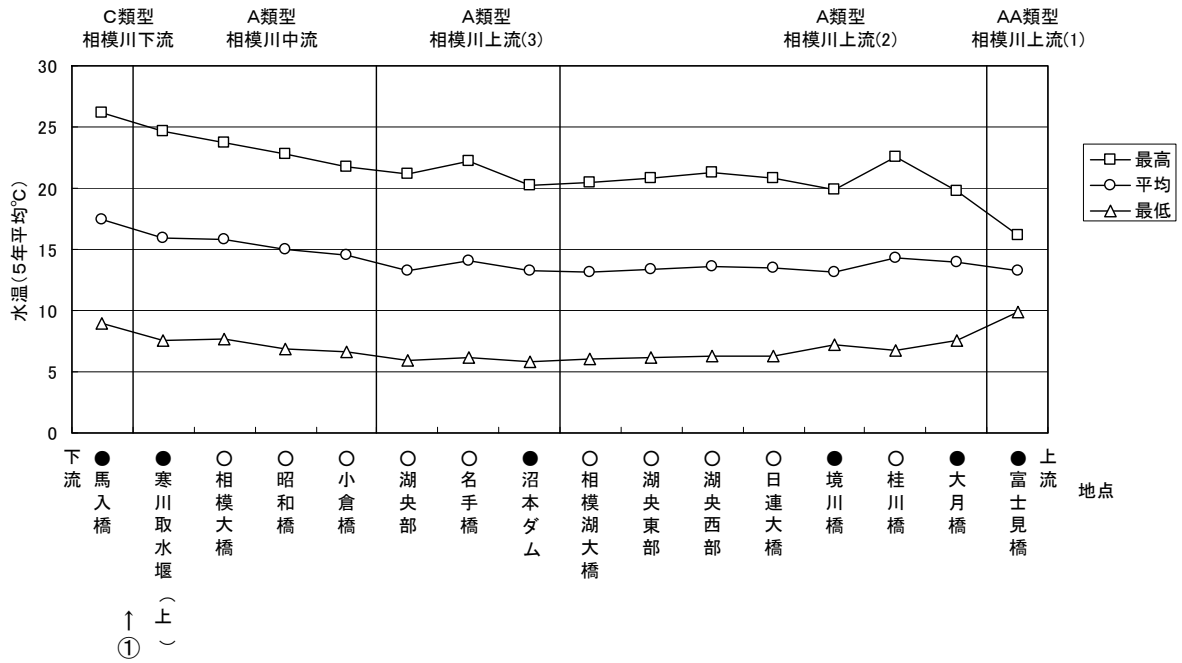
出典：公共用水域の水質測定結果

図 1.7 亜鉛検出状況(相模川)



出典：公共用水域の水質測定結果

図 1.8 水温(相模川)



NO	河川	都道府県	処理場名	放流水質(H16年平均)	
				水温(°C)	BOD(mg/L)
①	相模川	神奈川県	四之宮管理センター	22	150

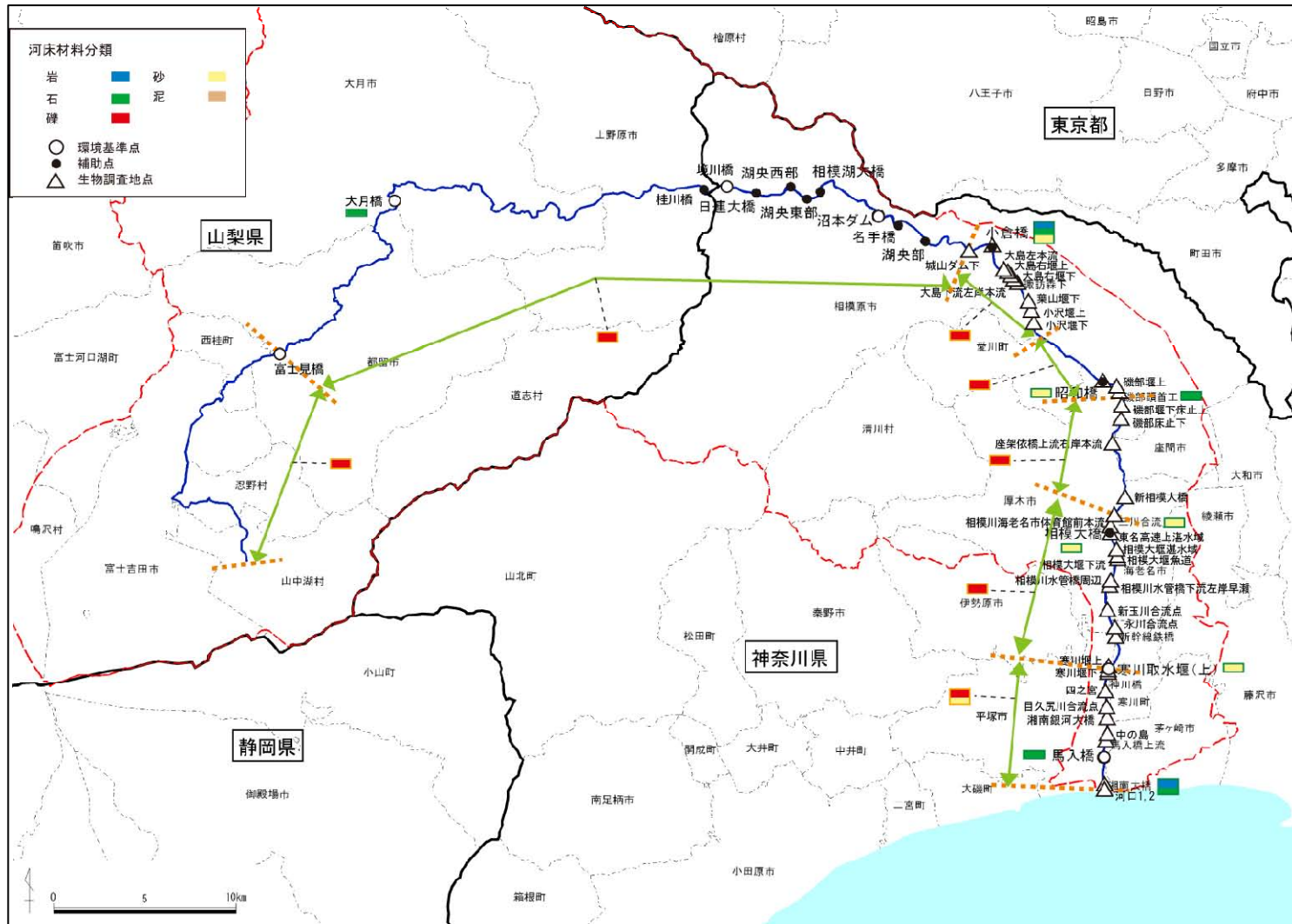
※最高・平均・最低は、平成 14～18 年度の公共用水域水質測定結果より、各年度において月平均水温の年最高値・年平均値・年最低値を求め、5 カ年でそれぞれ平均した値である。

地点：環境基準点(●)・補助点(○)

出典：公共用水域の水質測定結果

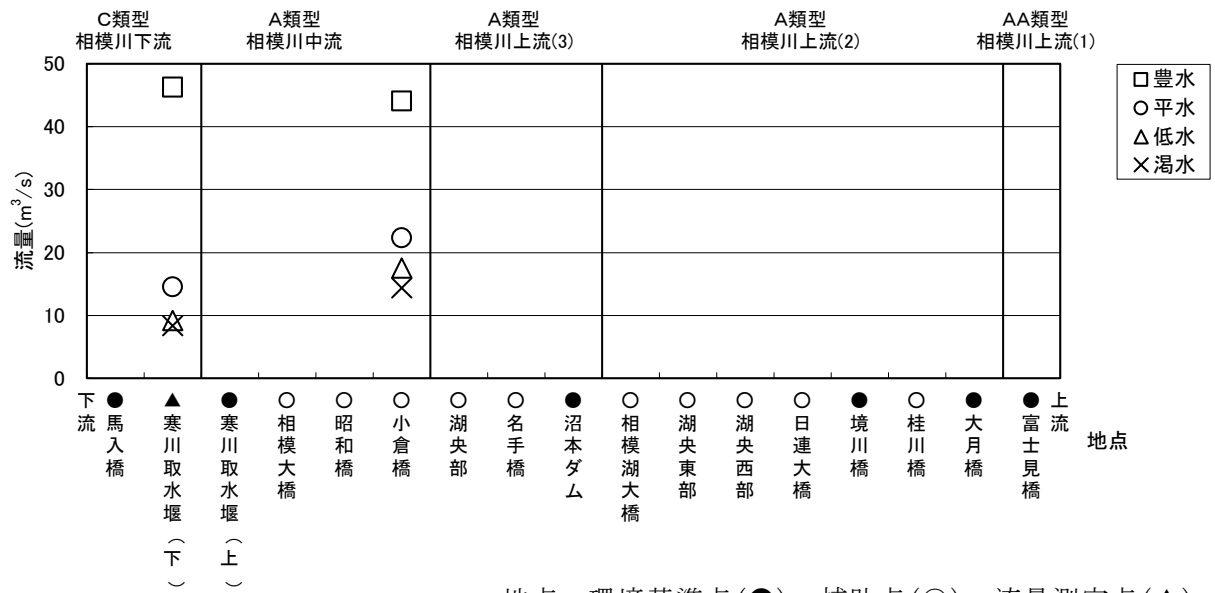
平成 17 年度版 下水道統計 第 62 号((社) 日本下水道協会、H19)

図 1.9 水温縦断分布(相模川)



出典： は、平成 17 年度の環境省の調査、 は「第 71 回河川整備基本方針検討小委員会 参考資料 1-1 相模川水系の流域及び河川の概要(案)」(平成 19 年 7 月 11 日)による

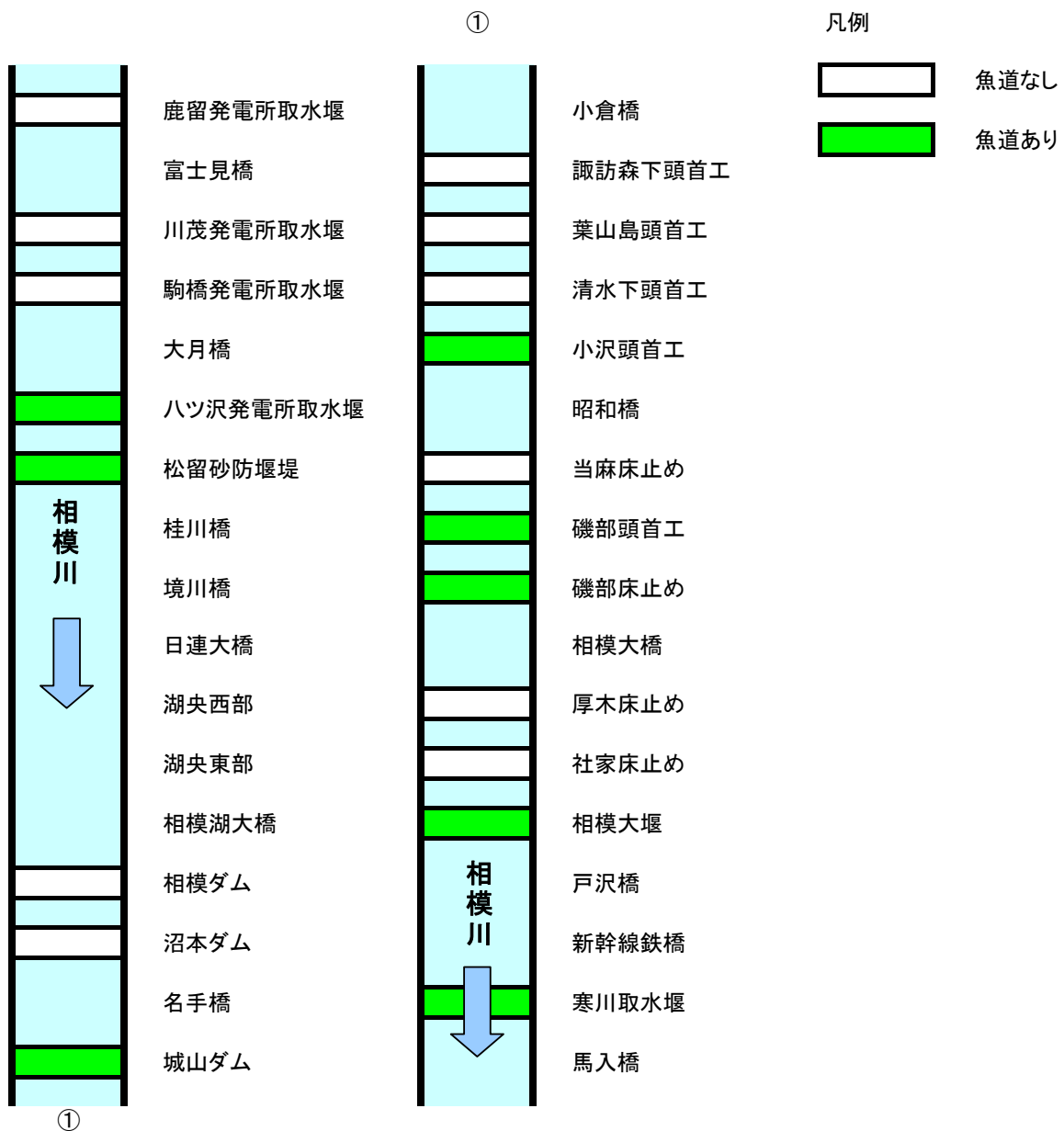
図 1.10 河床材料(相模川)



地点：環境基準点(●)・補助点(○)・流量測定点(▲)

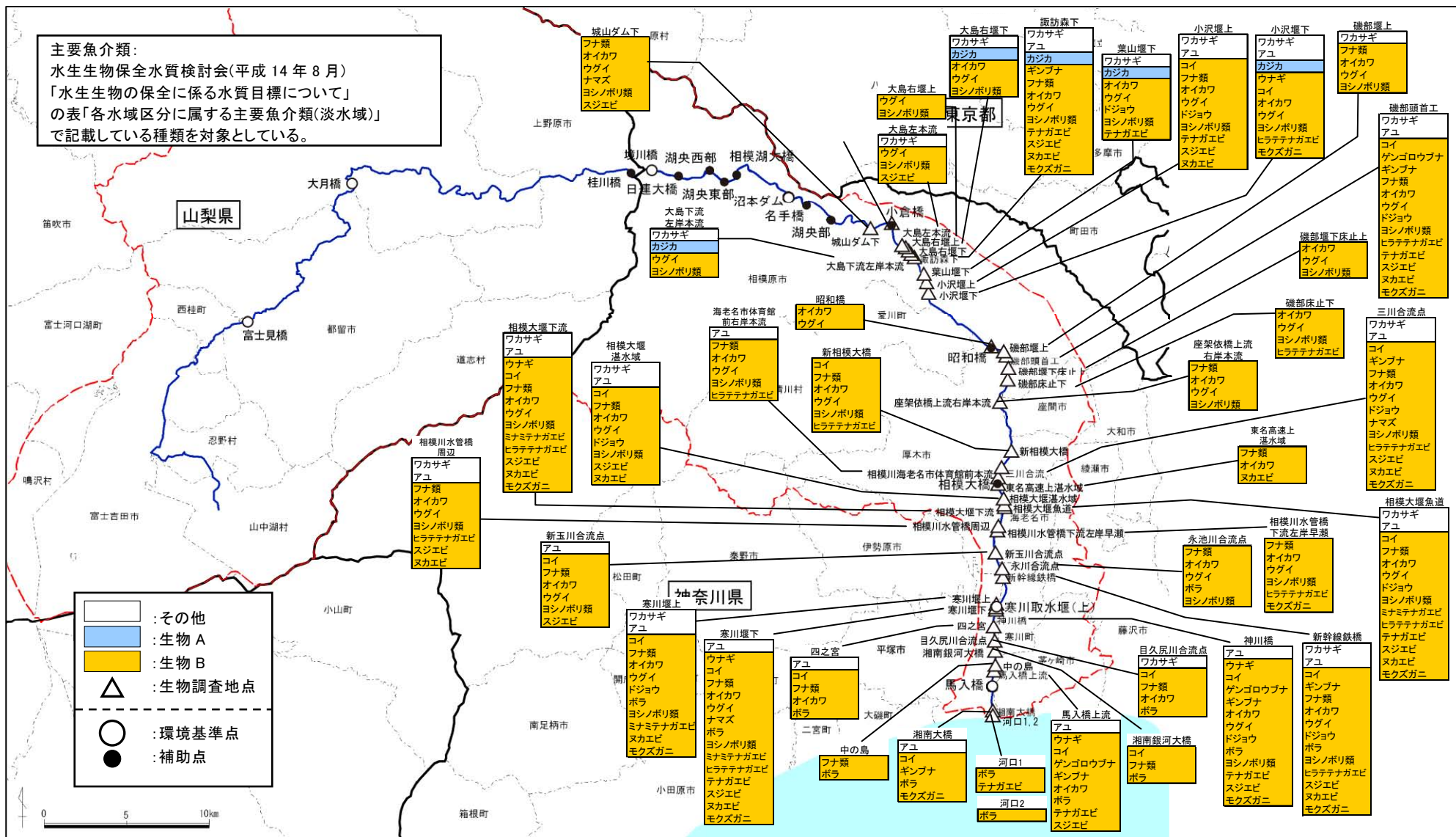
出典：第71回河川整備基本方針検討小委員会 参考資料6-1「相模川水系河川整備基本方針
流水の正常な機能を維持するため必要な流量に
関する資料(案)」(平成19年7月11日)

図 1.11 流量の縦断分布(相模川)



出典：国土交通省資料等を基に環境省が作成

図 1.12 主な河川横断工作物(相模川)



出典：国土交通省「河川水辺の国勢調査」他

図 1.13 主要魚介類の確認状況(相模川)

表 1.3(1) 魚介類の確認状況(既存調査結果)(相模川)

調査地点				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	14	18	19	20	21
項目・分類・科・種名				河口2*2	河口1*2	湘南大橋*1	馬入橋上流*1	中の島*2	湘南銀河大橋*2	目久尻川合流点*2	四之宮*2	神川橋*1	寒川堰下*2	寒川堰上*2	新幹線鉄橋*1	永池川合流点*2	新玉川合流点*2	相模川水管橋下流
調査年度				1999	1999	2002	2002	1999	1999	1999	1999	2002	1999-2003*3	1999-2003*3	2002	1999	1999	1999
生物A	魚類	カシカ科	カシカ															
その他	魚類	キュウリウオ科	ウカサギ															
		アユ科	アユ															
生物B	魚類	コイ科	ウナギ															
		コイ科	コイ															
		コイ科	ゲンゴロウフナ															
		コイ科	キンブナ															
		コイ科	フナ属の一種															
		コイ科	オイカフ															
		ドジョウ科	ウグイ															
		ナマズ科	ドジョウ															
		ウナギ科	ナマズ															
		ボラ科	ボラ															
		ハゼ科	シマヨシノボリ															
		ハゼ科	オオヨシノボリ															
		ハゼ科	トウヨシノボリ															
	甲殻類	テナガエビ科	ミナミテナガエビ															
		テナガエビ科	ヒラテナガエビ															
		テナガエビ科	テナガエビ															
		テナガエビ科	スジエビ															
		ヌマエビ科	ヌマエビ															
その他	魚類	イワガニ科	モスガニ															
		ヤツクダギ科	スベキツメ															
		アケエ科	アケエ															
		ニシン科	サウハ															
		ニシン科	コシロ															
		コイ科	キンギョ															
		コイ科	ウタカ															
		コイ科	ハス															
		コイ科	カラムツ															
		コイ科	アブラハヤ															
		コイ科	モツゴ															
		コイ科	ビワヒカイ															
		コイ科	ムギツク															
		コイ科	タモロコ															
		コイ科	カモツカ															
		コイ科	ヒコイ															
		コイ科	イトモロコ															
		コイ科	スコモロコ															
		コイ科	スコモロコ属															
		ドジョウ科	シマドジョウ															
		コンスイ科	コンスイ															
		トウゴロウイワシ科	ベヘレイ															
		メダカ科	メダカ															
		ヨウジウオ科	ヨウジウオ															
		ヨウジウオ科	イッセンヨウジ															
		カマキリ科	カマキリ															
		スズキ科	スズキ															
		シマイサギ科	コヒサギ															
		ユゴイ科	ユゴイ属															
		サンフィッシュ科	ブルーギル															
		サンフィッシュ科	オオクチバス															
		キス科	シロキス															
		アジ科	イケカツオ															
		アジ科	カスミアジ															
		アジ科	ロウニンアジ															
		ヒイラギ科	ヒイラギ															
		クロサギ科	イトヒキサギ															
		タニ科	クロタイ															
		ニベ科	ニベ															
		ニベ科	シロクチ															
		ボラ科	セシボラ															
		ボラ科	ナンヨウボラ															
		ツバメコノシロ科	ツバメコノシロ															
		ハゼ科	ドンコ															
		ハゼ科	ボウスハゼ															
		ハゼ科	ミミズハゼ															
		ハゼ科	スミウキゴリ															
		ハゼ科	ウキゴリ															
		ハゼ科	マハゼ															
		ハゼ科	ヒナハゼ															
		ハゼ科	アハゼ															
		ハゼ科	コクラハゼ															
		ハゼ科	ヨシノボリ属の一種															
		ハゼ科	アカオビシマハゼ															
		ハゼ科	ヌマチチブ															
		ハゼ科	Tridentiger属の一種															
		ハゼ科	サツキハゼ															
		タイワンドジョウ科	カムルチー															
		ウシノシタ科	クロウシノシタ															
		ワグ科	ワグ															
	甲殻類	クルマエビ科	クルマエビ属															
		クルマエビ科	サルエビ															
		テナガエビ科	Macrobrachium属															
		テナガエビ科	クソスズエビ															
		テナガエビ科	スジエビモドキ															
		テナガエビ科	Palaemon属															
		ヌマエビ科	ヤマトヌマエビ															
		ヌマエビ科	ミソレヌマエビ															
		ヌマエビ科	ヌマエビ															
		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ															
		クロベンケイガニ科	クロベンケイガニ															
		イワガニ科	アジハラガニ															
		イワガニ科	ケブサイロガニ															
		スナガニ科	アリアケモドキ															
		スナガニ科	スナガニ															
		サワガニ科	サワガニ															
		カワナガニ科	カワナガニ															
		カワナガニ科	サカマキガイ															

出典：*1 国土交通省「河川水辺の国勢調査」
 *2 相模川水系魚類生息状況調査報告書
 *3：1999, 2000, 2003 調査結果
 *4：1999, 2000, 2002, 2003 調査結果
 *5：1999, 2003 調査結果

表 1.3(2) 魚介類の確認状況(既存調査結果)(相模川)

項目・分類・科・種名		調査地点														
		22 相模川水管橋周辺*2	24 相模大堰下流*2	28 相模大堰魚道*2	30 相模大堰港水域*2	34 東名高速上港水域*2	35 海老名市体育館前 右岸本流*2	36 三川合流点*1	41 新相模大橋*2	42 座架依橋上流 右岸本流*2	43 磯部床下*2	44 磯部堰下床止上*2	45 磯部頭首工*1	46 磯部堰上*2		
		2004-2005	1999-2003*3	2004-2005	1999-2003*3	2000	1999	1999-2003*4	1999	1999	1999	1999	2002	1999		
生物A	魚類	カジカ科	カジカ													
その他	魚類	キヌクリウオ科	ワカサギ													
生物B	魚類	アユ科	アユ													
		ウナギ科	ウナギ													
		コイ科	ゲンゴロウブナ													
		コイ科	キンブナ													
		コイ科	フナ属の一種													
		コイ科	オイカワ													
		ドジョウ科	ウグイ													
		ナマズ科	ドジョウ													
		ウナギ科	ナマズ													
		ボラ科	ボラ													
		ハゼ科	シマヨシノボリ													
		ハゼ科	オオヨシノボリ													
		ハゼ科	トウヨシノボリ													
		甲殻類	魚類	テナガエビ科	ミナミテナガエビ											
				テナガエビ科	ヒラテナガエビ											
				テナガエビ科	テナガエビ											
				テナガエビ科	スジエビ											
				ヌマエビ科	ヌマエビ											
				イワガニ科	モクスガニ											
				ヤツメウナギ科	スナヤツメ											
				アカエイ科	アカエイ											
				ニシン科	ザッパ											
				ニシン科	コノシロ											
		コイ科	キンギョ													
		コイ科	ワタカ													
		コイ科	ハス													
		コイ科	カウムツ													
		コイ科	アブラハヤ													
		コイ科	モツコ													
		コイ科	ヒワヒガイ													
コイ科	ムギツク															
コイ科	タモロコ															
コイ科	カマツカ															
コイ科	ニオイ															
コイ科	イトモロコ															
コイ科	スゴモロコ															
コイ科	スゴモロコ属															
ドジョウ科	シマドジョウ															
コンスイ科	コンスイ															
トウゴロウイワシ科	ベヘレイ															
メダカ科	メダカ															
ヨウジウオ科	ヨウジウオ															
ヨウジウオ科	イツセンヨウジ															
カジカ科	カマキリ															
スズキ科	スズキ															
シマイサキ科	コトヒキ															
コヨイ科	コヨイ属															
サンフィッシュ科	ブルーギル															
サンフィッシュ科	オオクチバス															
サケ科	シロギス															
アサ科	イケカツオ															
アジ科	カスミアジ															
アジ科	ロウニンアジ															
ヒラキ科	ヒラキ															
クロサギ科	イトヒキサギ															
タイ科	クロダイ															
ニベ科	ニベ															
ニベ科	シログチ															
ボラ科	セスシボラ															
ボラ科	ナンヨウボラ															
ツバメコノシロ科	ツバメコノシロ															
ハゼ科	トコ															
ハゼ科	ボウズハゼ															
ハゼ科	ミスハゼ															
ハゼ科	スミウキゴリ															
ハゼ科	ウキゴリ															
ハゼ科	マハゼ															
ハゼ科	ヒナハゼ															
ハゼ科	アベハゼ															
ハゼ科	ゴクラクハゼ															
ハゼ科	ヨシノボリ属の一種															
ハゼ科	アカオビシマハゼ															
ハゼ科	ヌマチチブ															
ハゼ科	Tridentiger属の一種															
ハゼ科	サツキハゼ															
クワダドジョウ科	カムルチ															
クワダドジョウ科	クロウシシタ															
クワ科	クワ															
甲殻類	魚類	クルマエビ科	クルマエビ属													
		クルマエビ科	サルエビ													
		テナガエビ科	Macrobrachium属													
		テナガエビ科	イソスジエビ													
		テナガエビ科	スジエビモドキ													
		テナガエビ科	Palaemon属													
		ヌマエビ科	ヤマトヌマエビ													
		ヌマエビ科	ミノレヌマエビ													
		ヌマエビ科	ヌマエビ													
		アマガサガニ科	アマガサガニ													
		クロベンケイガニ科	クロベンケイガニ													
		イワガニ科	アシハラガニ													
		イワガニ科	ケフサイガニ													
		スナガニ科	アリアケモドキ													
		スナガニ科	スナガニ													
サウガニ科	サウガニ															
カワニナ科	カワニナ															
カワニナ科	サカマキガイ															

出典：*1 国土交通省「河川水辺の国勢調査」
 *2 相模川水系魚類生息状況調査報告書
 *3：1999, 2000, 2003 調査結果
 *4：1999, 2000, 2002, 2003 調査結果
 *5：1999, 2003 調査結果

表 1.3(3) 魚介類の確認状況(既存調査結果)(相模川)

項目・分類・科・種名		調査地点											
		47	48	52	55	56	57	58	59	60	61	62	
		昭和橋*2	小沢堰下*2	小沢堰上*2	葉山堰下*2	大島下流左岸本流*2	諏訪森下*1	大島左本流*2	大島右堰下*2	大島石堰上*2	小倉橋*2	城山ダム下*2	
		1999	1999-2003*3	1999-2003*5	1999	1999	2002	1999	1999	1999	1999	1999	
生物A	魚類	カジカ科	カジカ ¹⁾										
生物B	魚類	キウリウオ科	ウナギ										
		アユ科	アユ										
甲殻類	魚類	コイ科	ウナギ										
		コイ科	コイ										
		コイ科	ゲンゴロウフナ										
		コイ科	キンフナ										
		コイ科	フナ属の一種										
		コイ科	オイカワ										
		ドジョウ科	ウグイ										
		ナマズ科	ドジョウ										
		ウナギ科	ナマズ										
		ボラ科	ボラ										
		ハゼ科	シマヨシノボリ										
		ハゼ科	オオヨシノボリ										
		ハゼ科	トウヨシノボリ										
		テナガエビ科	ミナミテナガエビ										
		テナガエビ科	ヒラテナガエビ										
		テナガエビ科	テナガエビ										
		テナガエビ科	スジエビ										
		ヌマエビ科	ヌマエビ										
		イワガニ科	モクスカニ										
		その他	魚類	ヤツメウナギ科	スナヤツメ								
アカエイ科	アカエイ												
甲殻類	魚類	コシノ科	サツバ										
		コシノ科	コノボ										
		コイ科	キンギョ										
		コイ科	ワタカ										
		コイ科	ハス										
		コイ科	カワムツ										
		コイ科	アブラハヤ										
		コイ科	モツゴ										
		コイ科	ビワビガイ										
		コイ科	ムギツク										
		コイ科	タモロコ										
		コイ科	カマツカ										
		コイ科	ニギギ										
		コイ科	イトモロコ										
		コイ科	スコモロコ										
		コイ科	スコモロコ属										
		ドジョウ科	シマドジョウ										
		コンズイ科	コンズイ										
		トウゴロウイワシ科	ベヘレイ										
		メダカ科	メダカ										
		ヨウジウオ科	ヨウジウオ										
		ヨウジウオ科	イッセンヨウジ										
		カジカ科	カマキリ										
		スズキ科	スズキ										
		シマイサギ科	コヒキ										
		コイ科	コヒキ属										
		サンフィッシュ科	ブルーキール										
		サンフィッシュ科	オオクチバス										
		キス科	シロキス										
		アジ科	イケカツオ										
		アジ科	カスミアジ										
		アジ科	ロウニンアジ										
		ヒラギ科	ヒラギ										
		クロサギ科	イトヒキサギ										
		タイ科	クロダイ										
		ニベ科	ニベ										
		ニベ科	シロダテ										
		ボラ科	セウシボラ										
		ボラ科	サンヨウボラ										
		ツバメコノシロ科	ツバメコノシロ										
		ハゼ科	ドンコ										
		ハゼ科	ボウスハゼ										
		ハゼ科	ミスハゼ										
		ハゼ科	スミウキゴリ										
		ハゼ科	ウキゴリ										
		ハゼ科	マハゼ										
		ハゼ科	ヒナハゼ										
		ハゼ科	アベハゼ										
		ハゼ科	ヨウラクハゼ										
		ハゼ科	ヨシノボリ属の一種										
		ハゼ科	アカガビシマハゼ										
		ハゼ科	ヌマチチブ										
		ハゼ科	Tidentiger属の一種										
		ハゼ科	サツキハゼ										
		タイワンドジョウ科	カマルチー										
		ウシノシタ科	クロウシノシタ										
		ブリ科	クサブリ										
		甲殻類	甲殻類	クルマエビ科	クルマエビ属								
		甲殻類	甲殻類	クルマエビ科	サルエビ								
		甲殻類	甲殻類	テナガエビ科	Macrobrachium属								
		甲殻類	甲殻類	テナガエビ科	イノシエビ								
		甲殻類	甲殻類	テナガエビ科	スジエビモドキ								
		甲殻類	甲殻類	テナガエビ科	Palaeomon属								
		甲殻類	甲殻類	ヌマエビ科	ヤマヌマエビ								
		甲殻類	甲殻類	ヌマエビ科	ミノルヌマエビ								
		甲殻類	甲殻類	ヌマエビ科	ヌマエビ								
		甲殻類	甲殻類	アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ								
		甲殻類	甲殻類	クロベンケイガニ科	クロベンケイガニ								
		甲殻類	甲殻類	イワガニ科	アシハラガニ								
		甲殻類	甲殻類	イワガニ科	ケフサイソガニ								
		甲殻類	甲殻類	スナガニ科	アリアケモドキ								
		甲殻類	甲殻類	スナガニ科	スナガニ科								
		甲殻類	甲殻類	サワガニ科	サワガニ								
		甲殻類	甲殻類	カワナガニ科	カワナガニ								
		甲殻類	甲殻類	カワナガニ科	サカマキガイ								

出典：*1 国土交通省「河川水辺の国勢調査」
 *2 相模川水系魚類生息状況調査報告書
 *3：1999, 2000, 2003 調査結果
 *4：1999, 2000, 2002, 2003 調査結果
 *5：1999, 2003 調査結果

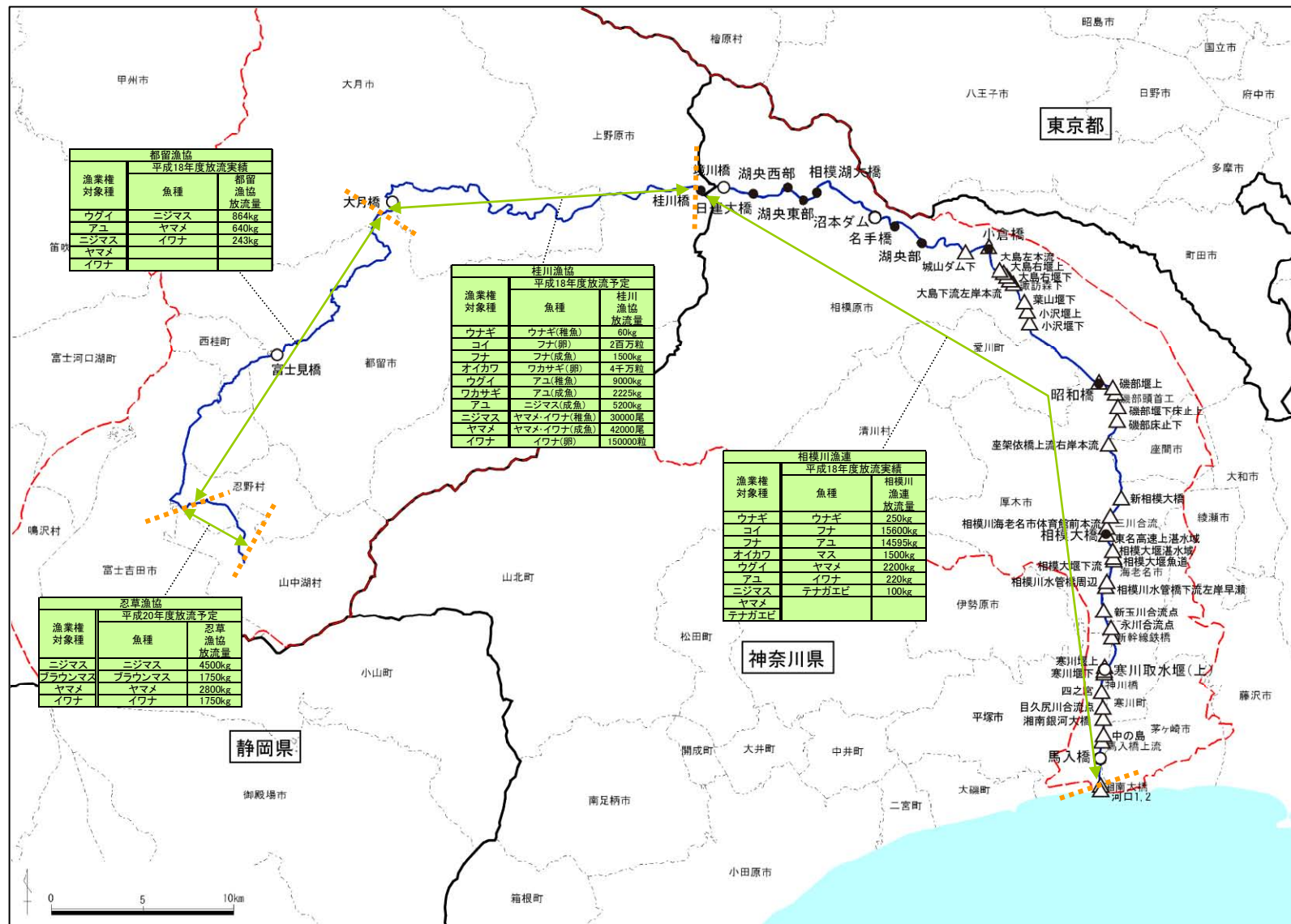


図 1.14 漁業権設定・魚類等放流状況(相模川)